

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY
名古屋
ちくさ
題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 名古屋東急ホテル
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 谷口 優
幹事 竹内 克豊
広報・会報委員長 池森 由幸

No. 35 奉仕を通じて平和を

Peace Through Service

2012~2013年度 RI会長 田中 作次

今日の例会

第1453回 平成25年 4月 23日 (火)
友愛の日

先週の例会

第1452回 平成25年 4月 16日 (火) 晴
クラブフォーラム
地区協議会報告

- ◆奉仕の理想
- ◆四つのテスト
- ◆ビジター紹介 2名

- ◆新入会員紹介 貴志 浩司君 (親睦委員会)
紹介 鈴木 (聖) 君



貴志浩司君より宣誓書読み上げ
その後宣誓書にサイン
谷口会長より入会認証書を読み
上げ バッジと認証書を手渡し

氏名 貴志 浩司 (きし こうじ)
生年月日 昭和35年7月25日
住所 名古屋市東区大幸1-10-52
TEL 712-2153
事業所住所 名古屋市千種区星が丘元町14-14
TEL 783-1111
名称 株式会社 名古屋三越 星ヶ丘店
地位 取締役店長 兼 営業統括部長
職業分類 百貨店
推薦者 鈴木 聖三

- ◆出席報告
会員 37 (31) 名 出席 24名
出席率 77.42 %
前々回 4 / 2 (修正出席率) 96.55 %

竹内幹事報告

- 1) 次週例会終了後、クラブアセンブリー現・次年度委員会引継ぎ、その後理事役員会を開催致しますので、担当の方々はお残り下さい
- 2) 会員増強 SAKUJI 作戦推進の件
御手元に資料をお配りしておりますので、お目通し下さい
- 3) 被災地高校生支援 奨学生の報告
盛岡誠櫻高等学校 佐藤好子さん
支援クラブ 名古屋北・千種・葵の3クラブで支援する事となりました

◆地区職業委員会 渡邊副委員長より VTT 研修チームの紹介

2760 地区「未来の夢計画」今回3年目のパイロット期間の最後の期間となります。この間、千種 RC にはスポンサークラブとしてご協力頂きました。今回サポートする方を、以下ご紹介

氏名: 覚前 有希子 (かくまえ ゆきこ)
生年月日: 1978年10月9日
勤務先: 藤田保健衛生大学病院 薬剤部 勤務
心臓血管外科・呼吸器外科病棟 担当
緩和ケアチーム 担当

略歴
2003.3 名城大学大学院 薬学研究科
医療薬学専攻 修士課程修了
2003.4. 藤田保健衛生大学病院 薬剤部 勤務
2007.10. 藤田保健衛生大学病院 薬剤部 退職
2008.7. フリンダース大学付属語学学校 卒業
2008.8. フリンダース大学緩和医療学修士課程入学
2010.3. フリンダース大学緩和医療学修士課程修了
2010.6. 藤田保健衛生大学病院 薬剤部 勤務



—千種 RC の皆様へ—

この度は、スポンサークラブとしてサポート頂きありがとうございます。また、このような貴重な研修の機会を頂き心より感謝致します。本来であれば、研修前に直接お伺いし、ご挨拶申し上げるところ、勤務のためにお伺いすることができず、書中でのご挨拶にて失礼いたします。

日本よりも古くから緩和ケアが普及しているカナダで、実際の現場を見せて頂き、多くを学んできたと思っております。帰国後、私が研修で学んだことにつきまして例会等でしっかりとご報告させていただきます。よろしくお願い致します。

谷口会長挨拶

会員増強に思うこと

4月14日に地区協議会がキャッスルホテルで開催されました。次年度の2760地区の取り組みについての協議会です。私は、次年度情報委員会の委員長を仰せつかっているので参加してきました。

次年度のテーマや地区の活動方針については、別の出席者から報告がありますが、本年度の会長として気になった点につきお話しします。

現在2760地区は4880名強の会員がおられます。愛知万博が開催された2005年当時の当地区の会員数は5000名を超えていました。日本において最大の人数を擁する地区であり、世界でも指折りの会員数の多い地区です。当然愛知万博が追い風となり、当地区の企業の勢いは順風漫歩の状況でした。会館建設等の金額がかさむ奉仕活動も行いうることができ、それに向けた意識も高かったのです。

ところが2008年9月15日に起きたリーマンショックで、日本の経済は減速し、デフレ基調が加速して行きます。ロータリーの活動も予定通りには行かず、会員の多くの意識はロータリーどころではないと言うものでした。会員数は5000人を切り、4500人まで低下するのはこの状況でした。

2011年3月11日には東日本大震災が発生し、援助活動に奔走する状態が続きます。2011年～2012年の松前ガバナー年度では5000人の会員達成をというスローガンを掲げましたが、2012年6月末では4804人の会員数に留まり、前年割れとなりました。

現在の経済状況は、安倍ノミクスと言われる経済現象で日本経済は好調な状況にあります。この経済状況の好調さは会員増強の追い風となるのではと思われるとの話が、パストガバナーからありました。しかし中小企業まで好調の影響は出ていないので、会員増強につながるのか不透明です。

名古屋市内にまた新しいロータリークラブが誕生するそうです。現在の会員数は男性14名、女性11名だそうです。この新しいロータリークラブは3年前から女性だけで構成するロータリークラブとして企画されてきたものだそうですが、それは叶わず、男女比は上記の数で発足するとのこと。それも3月に10名の会員が加入すると言うことで実現したそうです。まだまだこの地区の底力はたしたものであるということになるのでしょうか？2013年～2014年は、会員増強の可能性はあるのかもしれませんが。我々も安定した会を維持するためには会員増強が必要です。

各クラブにとって会員増強は必要なのでしょうか？30名程度でのそれなりにクラブ運営はできるという見方もあります。30名でのよいのでしょうか、そのためにはバランスのとれた年齢構成が必要です。でないと活動できる人員が不足するからです。会員増強はクラブ会員全員の責務であると思っています。

地区協議会報告

◆渡邊 源市 副幹事報告

2013年4月14日(日) 10:30～15:00

於：ウエスティンナゴヤキャッスル

出席者

池森由幸、加藤重雄、小林英毅、鈴木聖三、竹内克豊、谷口 優、舎人経昭、萩原喜代子、宮尾紘司、三好 親、渡邊源市 (あいうえお順)

RI会長：ロン D パートン (米国)

テーマ：ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を強調事項

- 1：会員増強の推進
- 2：ロータリー財団を通じた人道的奉仕の充実
- 3：ロータリーファミリーを通じたネットワークの強化

2760地区ガバナー：田中 正規 (たなかまさのり)
西尾RC 西尾病院理事長

地区方針：輝いて磨こう

- 1：会員意識向上
- 2：クラブのパワーアップ
- 3：地区の改革
- 4：会員増強

分科会

- 1：クラブ管理部門 (会員増強、総務、危機管理、東日本震災プロジェクト、研修、会計)
- 2：クラブ管理部門 (会員増強、WEB広報、ロータリーの友、)
- 3：職業奉仕 (職業奉仕月間プログラム、奉仕活動)
- 4：社会奉仕・国際奉仕 (RCC、環境保全、国際奉仕、識字率向上)
- 5：新世代奉仕 (インターアクト、ローターアクト、ライラ、青少年交換)
- 6：財団 (未来の夢計画、部門再編成、補助金、VTT、奨学基金、ポリオ、寄付金)
- 7：米山 (奨学生・額湯、寄付・卓話、奨学生選考)

◆萩原 喜代子 会長エレクト報告

皆さま こんにちは！

一昨日14日(日)に2013～2014年度のための地区協議会が、ウエスティンナゴヤキャッスルにて、ホストクラブ：一色ロータリークラブさまのもと10時30分～午後3時まで開催されました。本日はそのご報告をさせていただきます。私のご報告は「本会議」と分科会の中の「第I分科会」です。私は会長エレクトとして参加させていただきました。

「本会議」午前中は受付から始まり田中 正規ガバナーエレクトの点鐘・・・そして千田ガバナーのご挨拶。順を追ってガバナーエレクト講話、千田ガバナーより田中 正規ガバナーエレクトにクラブバナーの引き継ぎなどがございまして「本会議」を終了致しました。田中 正規ガバナーエレクトのご講話の中で2013年～2014年度ガバナー方針～磨いて 輝こう～を打ち出されました。

ロータリーを宝石に例えるとすばらしい「原石」である。原石は磨いて 磨いてやらないと美しい「輝き」は出ない。ロータリアン一人ひとりが 磨けば磨くほど ロータリーという原石が美しい宝石になる。

この想いで～～磨いて 輝こう～～のガバナー方針が決まりました。

本日この会場にご出席の 1463 名の皆さん ロータリーを磨きましょう！と締めくくられました。

「第 I 分科会」の内容は「本会議」と概ね同じ内容でした。「テーマは「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」でございました。

午前中の「本会議」も無事 終了した事もございまして千田ガバナーがこの日を以って事実上ガバナーとしてのお役を終えることになった今の心境を話されました。ロータリアンの皆さまに「ふれあい 想いやり 握手」で支えて頂きました。本当にありがとうございます。今もう一度 ガバナーを受けないか？と言われれば、「はい」と言いたい気分です。

それほど 充実した一年でした。

皆さまも 一年後そう思えるよう「悔いのない一年」をすごして下さい。

と、送る言葉がございました。

◆池森 由幸君 第 2 分科会報告

第 2 分科会は「会員増強こそがクラブ運営を強化する」と題した、クラブ運営部門に関しての勉強会でした。加藤陽一次期会員増強委員長からは、女性会員、若手の会員を重点的に増強しようという方針が示されました。また、入会申し込み者が合った場合、例会開催日等の諸事情で残念ながら条件が整わないような場合には、他クラブへ積極的に紹介して欲しいとの事でした。

尾本和弘次期広報委員長からは、今期、広報委員会と雑誌委員会が合同したのに引き続き、次期からは IT 委員会も合同するのと言う案内があり、国際ロータリーからの指導もあって、今後も Web の活用を推進して行く旨の案内がありました。

また、過去のガバナー月信、週報等のデータを地区でデジタル管理しているので、活用して欲しい旨の案内もありました。

次いで、宮崎薫ロータリーの友地区委員からは、ロータリーの友の活用事例や、その他、ロータリージャパンで監修している広報誌『Rotary 世界と日本』『Rotary あなたも新しい風に』の活用についての紹介がありました。

また、津川聖子次期研修副委員長からは、次期の研修会、特に会長エレクト、副幹事向けの研修日程の発表があり、リーダー育成プログラムの重要性をお話し下さいました。

◆舎人 経昭君 第 5 分科会報告

平成 25 年 4 月 14 日にウエスティンナゴヤキャッスルで行われた地区協議会に出席しました。

同日午後、新世代奉仕関連部門の第 5 分科会に出席しました。

テーマは新世代奉仕活動、理念の実践とその課題、解決

に向けてパートⅢという事で、実践活動を展開する 3 年目に入り、各委員会、次期委員会（新世代、インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換）より、それぞれ挨拶、活動方針が述べられました。

特に本年度は、各委員会が「活動の基本に帰ることの大切さ」を認識し、特にロータリアンが人生の先輩として望ましい手本となるため、青少年達と時間と空間を共有し、その指導力を最大限に発揮していただきたい。

又、4 委員会が実践する青少年健全育成プログラムの目的達成の為、お互いの活動、課題を理解しあい地区内 82RC へ適切な情報発信ができ、課題解決に繋がるように新世代月間にはロータリーファミリーも交えた「地区新世代サミット」を前年度に引き続き開催する。

インターアクト、世界中の青少年が共に活動出来る奉仕組織をつくる。

ローターアクト、リーダーシップと職業的専門能力を開発し、奉仕を志向する市民と指導者を育成する、RYLA、青少年の指導力を助長し指導者および善良な市民としての資質を伸ばす。

青少年交換、文化交流のため海外との交換留学により国際理解と親善を促進する。

◆渡邊 源市君 第 6 分科会報告

財団関連部門の説明（下記）

1：委員会のスリム化を実施、8→6 委員会 55→45 人

2：監査委員会強化、資金管理委員会新設

（資金運用厳格化）

3：未来の夢計画 パイロット期間終了、

世界の全 RC でプロジェクト実施

4：年次寄付、恒久基金、メジャードナーへの協力

年次寄付目標 150 ドル/人 地区平均 147 ドル

千種 97.4 ドル（2 月末現在）

5：補助金 新地区補助金（地域貢献）

グローバル補助金（国際支援：重点 6 分野）

6：VTT パイロット地区実績 医療チームを海外へ

派遣（千種スポンサー 米：清水さん、

豪：深谷さん、加：覚前さん）

7：奨学基金、学友、平和フェローシップ

3 部門を一元化 学友の組織強化

8：寄付金、カード加入促進（千種：3 名）

◆鈴木 聖三君 第 7 分科会報告

第 7 分科会（米山奨学関連部門）は、一 奨学事業は人材育成、米山学友は世界を、日本を繋ぐ 一 をテーマに講話が、出席者 200 名のもと開催されました。

福田、加納両バスターガバナーが同席され、伊藤米山委員長からは米山事業の概要そして地区の役割で全体像が、各副委員長からは米山奨学生・学友の事、奨学金寄付の事、そして奨学生の選考やカウンセラー等についてわかりやすく説明がありました。

その中で、全国 9 万人のロータリアンの浄財を基に、2013 年は 700 名、そのうち当地区は新規 23 名 継続 8 名の採用でした。対象学生数 5000 人の中から 23 名を選考しています。

米山事業の特色は日本における私的奨学会として最大であり、毎月 1 回例会出席義務があり、1 人の奨学生に

1人のロータリアンがカウンセラーとして相談に乗るシステムです。そして学部課程大学生には月額10万円、修士・博士課程には月額14万円が支給され、返還義務はありません。

川原ガバナー補佐からは、年々寄付金が減り採用枠が減る中、知名度を上げて、近い将来1000名の米山奨学生を出していこうと決意が述べられ、アドバイザー総評では福田パストガバナーから“米山を通して、自信を持って世界の若者と通じ合っていこう”との講評を得て終了致しました



《サクセスジャパン (SAKUJI) 作戦推進について》

今年度より全国34地区で取り組み始めました表題の会員増強作戦につき、千種RCも賛同クラブとして参加登録しております。

ご推薦の協力お願い致します

お知らせ!

4月30日(火) 休会です

4月30日～5月6日事務局休館です
緊急連絡があった場合はポケット名簿(担当者)に従ってご連絡下さい



5月例会内容のご案内

5月 7日(火) 12:30 名古屋東急ホテル
3階 錦の間

5月14日(火) 12:30 名古屋東急ホテル
3階 錦の間
講演: 理央 周様 “イノベーション的発想術”

5月21日(火) 12:30 名古屋東急ホテル
3階 錦の間
講演: 松下 佳代様 “社会福祉の仕事”
<例会後: 理事会>

5月28日(火) 12:30 名古屋東急ホテル
3階 錦の間
友愛の日

ニコボックス

林 健一君 (2680 地区 川西猪名川 RC)
本日 MAKE UP に伺いました。
よろしくお祈りします

堀江 宏輝
ホームクラブご無沙汰しました

池森 由幸
このところ地区広報委員会の卓話で他クラブを廻っていますのでホームクラブ欠席していました

小山 雅弘
初めて通訳のできるタブレットを買いました

佐久間良治
家族会欠席しました

鈴木 理之
春の家族会 とても楽しかったです
係の皆さんご苦労様でした

渡邊 源市
小嶋洋一先生 本日はお越し頂きありがとうございます。
一昨日の地区協議会出席者の皆様、ごころうさまでした。

萩原喜代子	川端 圭	貴志 浩司
柵木 充明	西川 豊長	大口 弘和
太田 和孝	大谷 恩	鈴木 聖三
竹内 克豊	谷口 優	舎人 経昭
吉田 玄		

先週末の地区協議会お疲れさまでした。
報告宜しくお祈りします
伊藤 健文 結婚記念日お祝い

合計 44,000 円



次回例会 : 平成25年 5月 7日(火) 3階 錦の間

会員3分間卓話